

# 新型コロナウイルス禍が女性に及ぼす影響について緊急アンケート結果報告

静岡市女性会館

指定管理者 NPO 法人男女共同参画フォーラムしずおか

## 《調査概要》

### 1. 調査目的

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、4月16日に特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が全国に拡大された。私たちは、市内の学校の休校、デパートやレジャー施設等の休業、不要不急の外出自粛など、これまでに経験したことのない日常を過ごすようになった。

そこで、静岡市女性会館では、女性を取り巻く課題を解決する市内唯一の施設として、女性の生活や心身にどのような影響を及ぼしているのか実態を把握し、女性のニーズに応える事業を展開するために本調査を実施した。

### 2. 調査期間

2020年4月18日～27日

### 3. 調査方法

WEB調査（Googleformにて、女性会館HPやSNSを活用して回答を収集）

### 4. 調査対象者

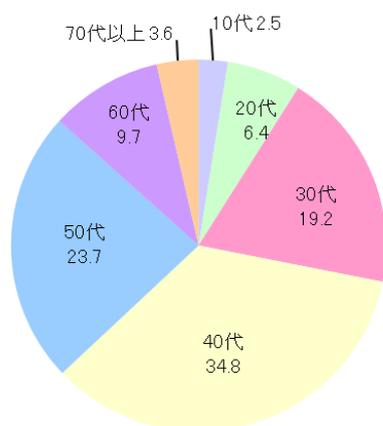
静岡市内に住んでいるか通勤・通学している女性 有効回答数 359件

### 5. 調査実施機関

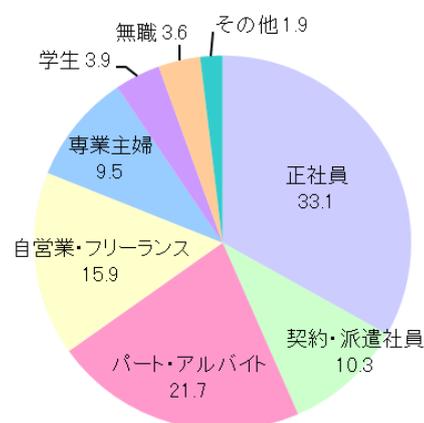
静岡市女性会館指定管理者 NPO 法人男女共同参画フォーラムしずおか

## 《調査対象者の特性》

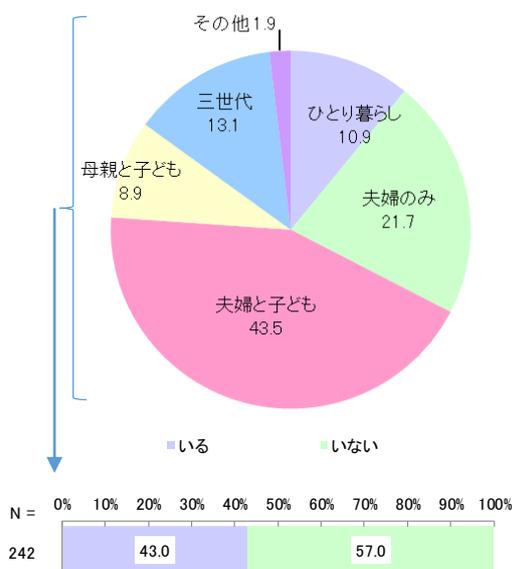
### 1. 年代



### 2. 職業



### 3. 家族形態と小学生以下の子どもの有無



本アンケートの回答者（調査対象者）は、女性会館の講座修了生を中心に、日頃から女性会館にゆかりのある女性が SNS で拡散したため、年代は「40代」が34.8%と最も多く、「30代」から「50代」で4分の3を占めている。

職業は、「正社員」が33.1%と最も多く、「パート・アルバイト」が21.7%、「自営業・フリーランス」15.9%と続く。

家族形態は「夫婦と子ども」が43.5%を占め、「夫婦のみ」が21.7%、「三世代」が13.1%と続く。「ひとり暮らし」や「夫婦のみ」を除く242件のうち、同居家族に小学生以下の子どもが「いる」は43.0%であった。

#### 《調査結果のまとめ》

- ◇働く女性のうち3人に2人は、働き方に何らかの変化があった。国が推奨するテレワーク（「在宅で仕事をするようになった」）をしている人は23.7%にとどまる。
- ◇「会社都合で仕事を休んでいる」パート・アルバイトや「仕事がなくなった」自営業・フリーランスでは収入減となった割合が高く、厳しい状況がうかがえる。パートやフリーで働く人が多い母子家庭では半数以上が収入減となっている。
- ◇生活や行動の変化では、半数以上が「友達に会えなくなった」「やりたいことができなくなった」「運動不足になった」と回答。小学生以下の子どもがいる場合は、「子どもの世話が増えた」や「家事の負担が増えた」が70%以上を占める。
- ◇心身への変化は「気持ちが沈んでいる」が4割弱、「イライラしやすくなった」「新型コロナウイルスのニュースを見てられない」は各々4人に1人程度いる。特に20代で不安を挙げた割合が高い。
- ◇女性会館に望むサービスは「YouTube や Instagram を利用した講座・講演等」や「信頼できる相談機関をホームページに掲載」が上位1位、2位だった。
- ◇困りごとを尋ねた自由回答には90件近い声が寄せられた。大学生や母子世帯に大きくのしかかる経済的不安、非常事態下での働き方への不安、家事や子どもの世話などケア労働の負担増、保育園の登園自粛要請に伴う悩み、長引く学校休業による子どもへの影響、妊娠中の女性へのサポート不足、夫婦や家族の問題など、女性のリアルな心情が吐露されている。このほか、感染リスクも含めた様々な不安の声がある一方で、前向きにがんばっていこうという声もあった。

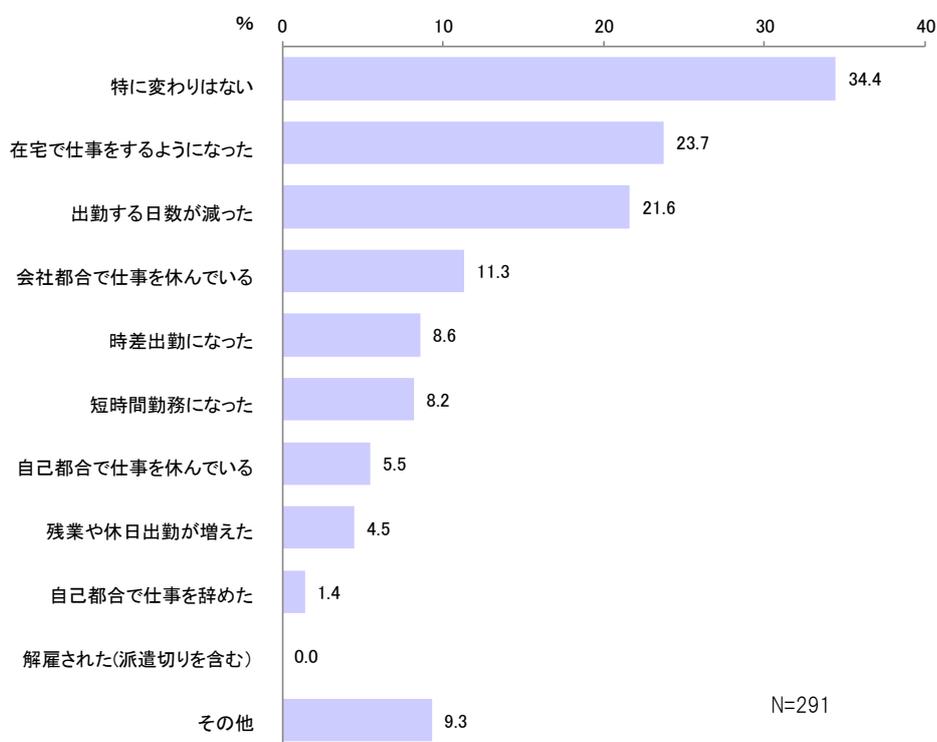
静岡市でも、子どもの学校休業や保育園登園の自粛要請で、家事育児などのケア労働の負担が一気に女性に押し寄せている状況が明らかになった。子どもの世話をするために仕事を休んだり、出勤日数を減らしたりすることは、経済的基盤がぜい弱な母子家庭を直撃している。本アンケートで明らかになったこうした問題は、コロナ禍だから起きたわけではなく、普段からある問題が顕在化したと考えられる。女性会館では、自粛による家庭内での負担が、女性により重くかかっている状況をわかりやすい形で発信しながら、昨今わずかでも進んだ男女平等への道が逆行しないよう、広く働き掛けていきたい。

## 《調査結果》

## 1. 働き方の変化

Q. (働いている方に) 新型コロナウイルスの影響で、あなたの働き方は変わりましたか。

(回答はいくつでも)



働いている人（コロナの影響で仕事を辞めたばかりの人を含む）291人に、働き方の変化を尋ねたところ、34.4%と約3分の1の人は「特に変わりはない」と回答した。働き方が変わった人の中では「在宅で仕事をするようになった」が23.7%、「出勤する日数が減った」が21.6%と続いている。

本調査の回答者の中には「解雇された（派遣切りを含む）」は皆無であったが、「会社都合で仕事を休んでいる」人は11.3%おり、「自己都合で仕事を辞めた」人も1.4%いる。

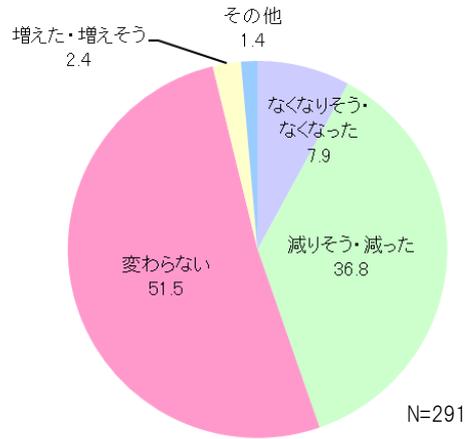
	標本数	働き方の変化										
		特に 変わり はな い	在宅 で仕 事を した す	減 出 勤 す る 日 数 が	会 社 都 合 で 仕 事	時 差 出 勤 に な っ	短 時 間 勤 務 に	自 己 都 合 で 仕 事	残 業 や 休 日 出 勤 が 増 え た	自 己 都 合 で 仕 事	遣 解 雇 さ れ た あ っ た 派	そ の 他
全 体	291	34.4	23.7	21.6	11.3	8.6	8.2	5.5	4.5	1.4	-	9.3
正社員	119	39.5	32.8	16.8	5.0	14.3	5.9	2.5	5.9	-	-	8.4
職業 契約・派遣社員	37	37.8	24.3	16.2	10.8	10.8	2.7	-	5.4	5.4	-	8.1
パート・アルバイト	78	32.1	3.8	28.2	21.8	3.8	12.8	11.5	5.1	2.6	-	2.6
自営業・フリーランス	57	24.6	31.6	26.3	10.5	1.8	10.5	7.0	-	-	-	21.1

職業別にみると、パート・アルバイトでは「会社都合で仕事を休んでいる」が21.8%と多い。「在宅で仕事をするようになった」（3.8%）という選択肢は少なく、仕事の中断を余儀なくされている。

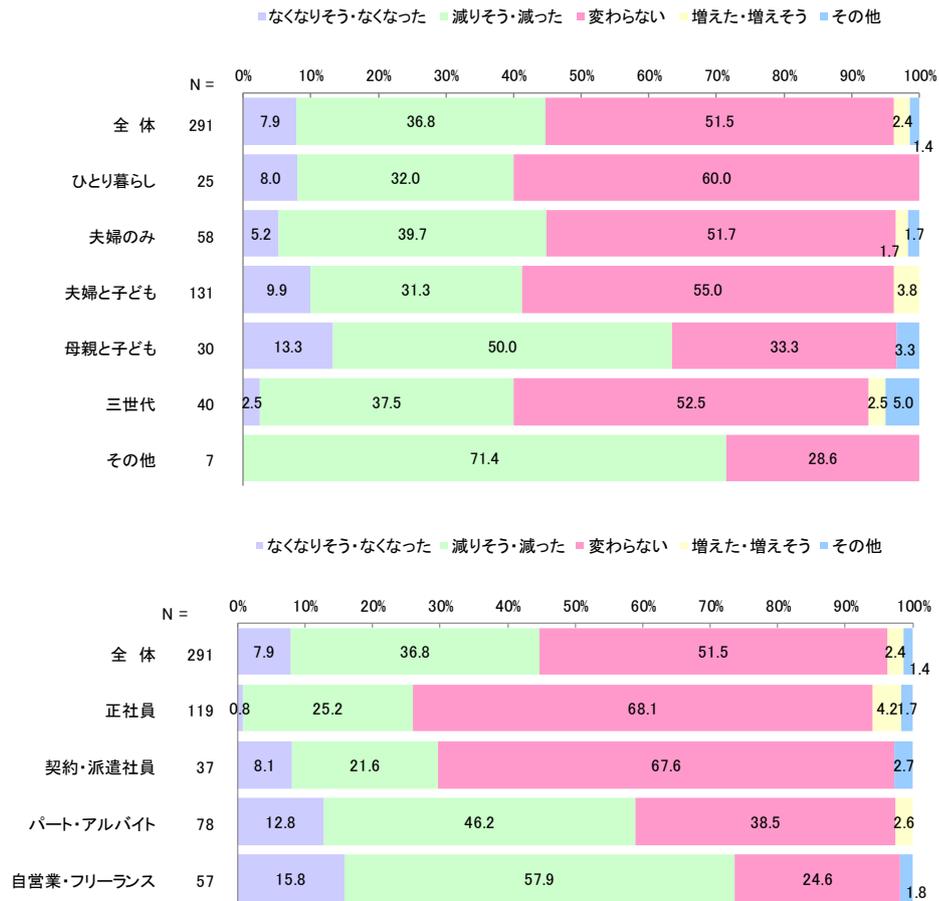
自営業・フリーランスでは、「その他」として「仕事の依頼が減った」「仕事がキャンセルになった」との声が多く挙げられた。

## 2. 収入への影響

Q. (働いている方に) ご自身の収入への影響はいかがですか。



収入への影響について尋ねたところ、「変わらない」が51.5%と半数を占めるが、「減りそう・減った」が36.8%、「なくなりそう・なくなった」も7.9%いた。



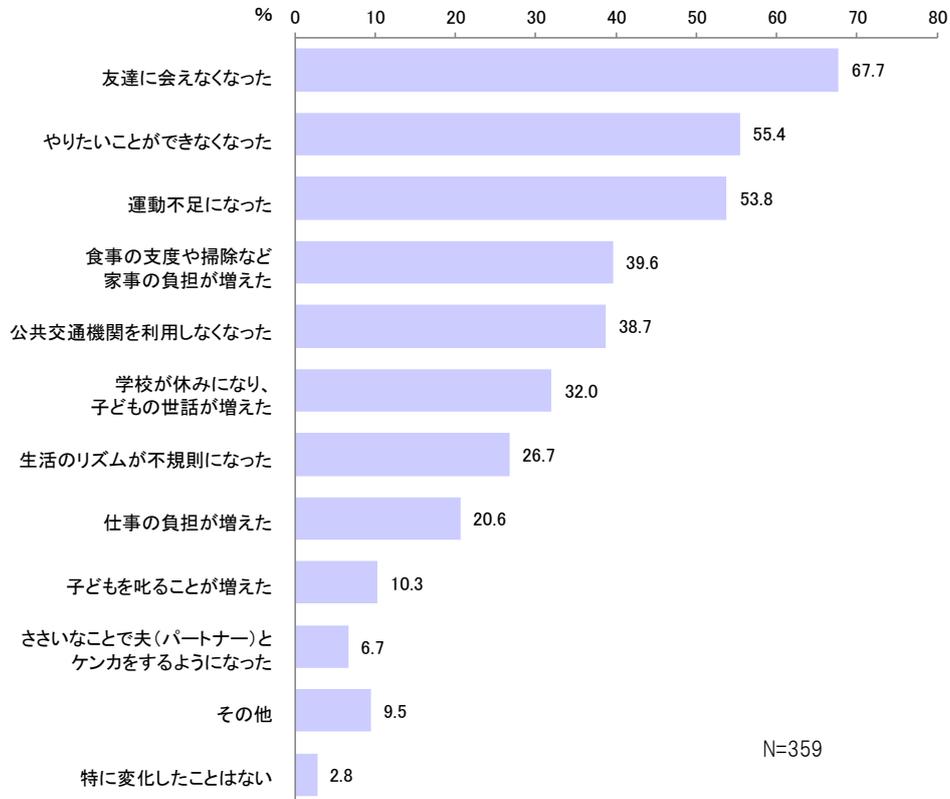
収入への影響は、母親と子どもの世帯（母子世帯）では、「減りそう・減った」が50.0%を占め、「なくなりそう・なくなった」も13.3%と、他の家族形態に比べて高い。

職業別では、前問同様、パート・アルバイトと自営業・フリーランスで収入減という割合が著しく高い。

## 3. 生活や行動の変化

Q. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、あなたの生活や行動に変化がありましたか。

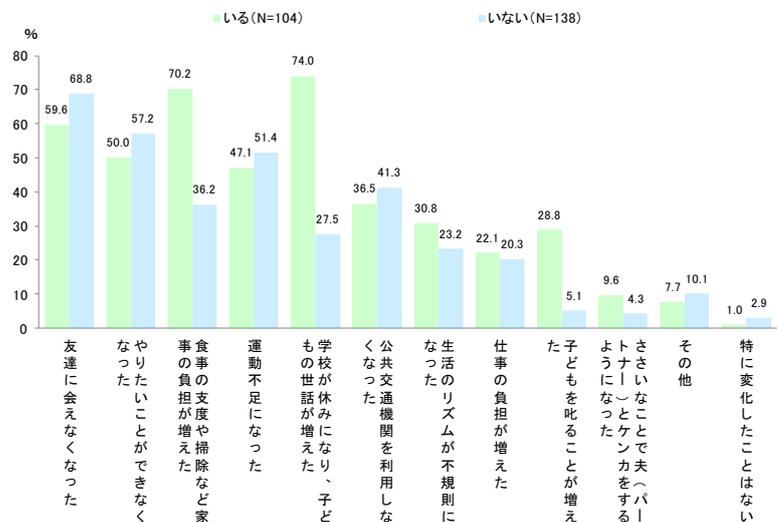
(回答はいくつでも)



生活や行動で「特に変化したことはない」が 2.8%だったことから、新型コロナウイルスの感染拡大は、ほとんどの人の生活や行動に何らかの影響を与えていることになる。中でも「友達に会えなくなった」が 67.7%と最も多く、次に「やりたいことができなくなった」が 55.4%、「運動不足になった」が 53.8%と続く。

小学生以下の子どもがいる世帯で「学校が休みになり、子どもの世話が増えた」が 74.0%、「食事の支度や掃除など家事の負担が増えた」が 70.2%と多くを占めている。また、「子どもを叱ることが増えた」は 28.8%となっている。

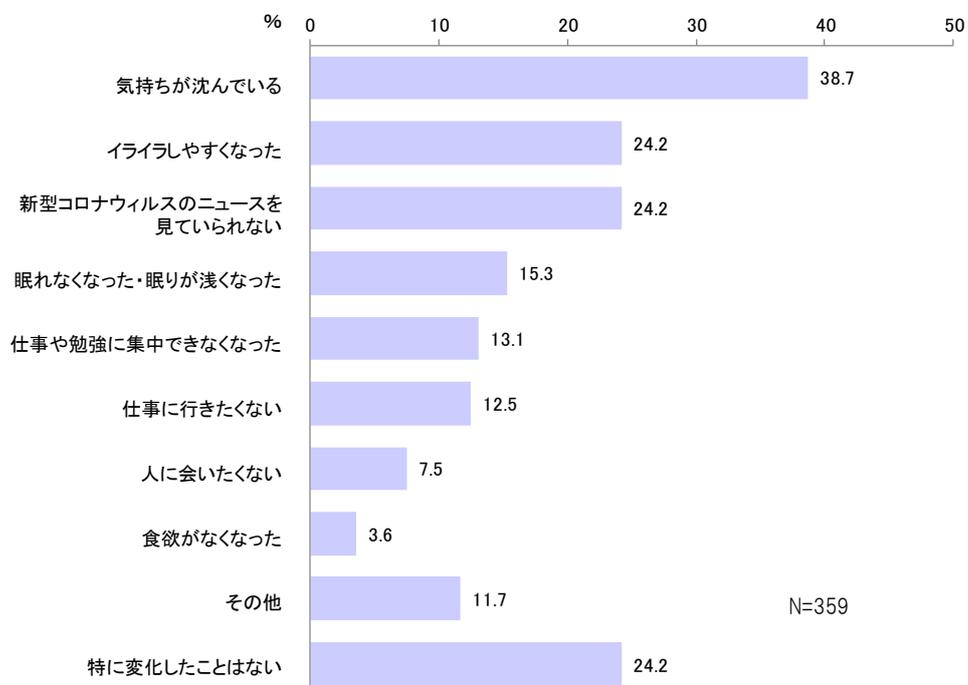
このほか、ひとり暮らしでは「生活のリズムが不規則になった」(43.6%)や正社員では「仕事の負担が増えた」(31.1%)の比率が高いのが特徴的である。



## 4. 心身の変化

Q. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、あなたの心身に変化がありましたか。

(回答はいくつでも)



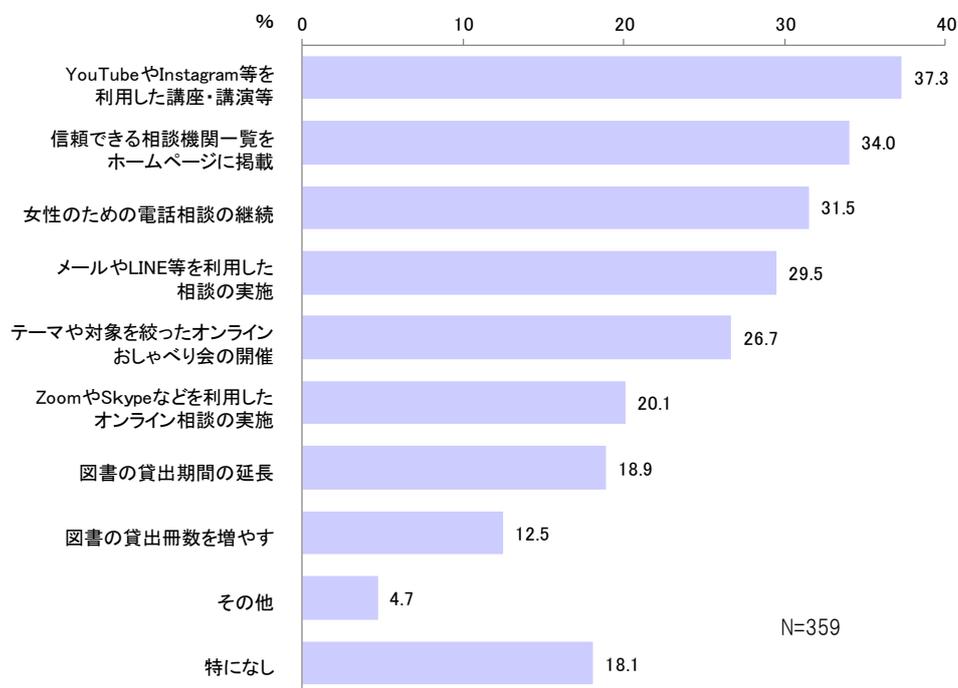
心身面で「特に変化したことはない」が 24.2%だったことから、残りの4分の3の人には新型コロナウイルスの感染拡大による心身への変化があったことになる。心身面の変化では「気持ちが沈んでいる」が 38.7%で最も多く、次に「イライラしやすくなった」と「新型コロナウイルスのニュースを見てられない」が各 24.2%と続く。

	標本数	心身の変化									
		る気持ち が沈んで い	な イ ラ イ ラ し や す く な っ た	て い ら れ な い	新 型 コ ロ ナ ウ ィ ル ス の ニ ュ ー ス を 見 る	眠 り が な く な っ た ・ 浅 く な っ た	で し じ や 勉 強 に 集 中 し な か つ た	い し じ に 行 き た く な い	人 に 会 い た く な い	食 欲 が な く な っ た	そ の 他
全体	359	38.7	24.2	24.2	15.3	13.1	12.5	7.5	3.6	11.7	24.2
年代											
10代	9	22.2	11.1	11.1	-	22.2	-	11.1	-	22.2	55.6
20代	23	52.2	26.1	39.1	13.0	17.4	26.1	13.0	8.7	4.3	17.4
30代	69	43.5	30.4	24.6	15.9	11.6	15.9	7.2	2.9	10.1	15.9
40代	125	36.0	27.2	22.4	18.4	16.8	14.4	9.6	5.6	11.2	24.8
50代	85	35.3	20.0	24.7	16.5	10.6	9.4	3.5	2.4	15.3	27.1
60代	35	40.0	17.1	22.9	8.6	5.7	5.7	5.7	-	14.3	22.9
70代以上	13	46.2	15.4	23.1	7.7	7.7	-	7.7	-	-	38.5

年代別にみると、回答者数は少ないものの 20 代で「気持ちが沈んでいる」52.2%、「新型コロナウイルスのニュースを見てられない」39.1%、「仕事に行きたくない」26.1%が他の年代に比べて高いなど、不安を抱えている様子がうかがえた。

## 5. 女性会館に望むサービス

Q. 以上のような状況の中で、女性会館にどのようなサービスを望みますか。（回答はいくつでも）



行動や心身面に何らかの影響がある生活の中で、女性会館への要望としては「YouTube や Instagram を使った講座・講演等」が 37.3%で最も多く、「信頼できる相談機関一覧をホームページに掲載」が 34.0%、「女性のための電話相談の継続」31.5%と続く。

年代や職業別、家族形態別によるニーズは変わらない。

## 6. 困りごと

Q. 最後に、何かお困りのことがあれば自由にお書きください。

## 【経済的なこと】 ☆は母子世帯

- 大学生です。学校からアルバイト自粛と言われてしまい、自分の収入が 9~10 万円減りました。進級はしたのですが、教科書(5 万円ちょっと)や交通費などの費用がかなり負担になっています。(10 代・学生)
- 外出するのが気分転換になっていたがそれができなくなっているのが辛い。人と接触することが怖いので新しく仕事を探す気持ちにもなれず収入がない状態が続いている。困っているのは皆同じだから誰に相談もできずに気持ちをため込んでいる。SNS に投稿することも怖くてしなくなった。(20 代・契約・派遣社員)
- 来月以降に収入が減るのが目に見えてるから諸々の支払いが不安です (30 代・パート・アルバイト)
- 仕事も、コロナが落ち着くまで待機になり、家にいることを推奨されてるので、他にバイトに出ていいか悩み、でも、収入もなく不安。(40 代・パート・アルバイト)
- シングルマザーです。本当に大変です。同じような境遇の方が周りにいないので、同じような方と繋がりたいです。(30 代・正社員☆)
- 母子家庭で収入は減らないが、出費（食品、光熱費）が多く、大変な状態です。(30 代・パート・アルバイト☆)

- 児童手当がもらえない高校生、大学生も自宅で 3 食食べればかなりの経済負担です。1 万円欲しいです。(40 代・自営業・フリーランス☆)
- 緊急事態宣言に伴う外出自粛や休業要請等で収入減となり、困窮する母子家庭へいち早く静岡市が手を差し伸べてほしいです。子どもが保幼小中生でなくとも、母子家庭や障がい者家庭への支援がないと、今後さらに困窮を極めてしまいます。国からの支援に時間がかかる今、自治体の迅速な支援を（そして情報も）どうかお願いします。(50 代・自営業・フリーランス☆)
- 仕事量が減り、収入が減ったことへの不安。(40 代・自営業・フリーランス☆)
- 収入確保。(40 代・自営業・フリーランス)
- フリーランスなのでほぼ収入がなくなった。(60 代・自営業・フリーランス)

## 【働き方への不安・仕事の見通し】

- 優先順位の判断に悩むことあり、命か仕事か？のような究極な選択。何のために仕事（生きているのか）をしているのかを自問自答することが多くなった。(30 代・正社員)

- テレワークできない職業なので、人との接触は 8 割減らせません。考えて神経質になり気持ちも沈みます。(40代・契約・派遣社員)
- テレワークに消極的だったり、ルールが曖昧なため良い評価を得られなかったりするため、そのまま出勤しています。もっと仕組みとして確立出来るよう、落ち着いたら振り返り＆今後の対策セミナーを開催して欲しいです。(50代・正社員)
- リモートワークができない職種で、心身への負荷が大きい部署への異動で疲れやストレスがすごい。契約社員なのでボーナスや手当がつくわけでもなく、今年度末で契約切りと言われ、次の仕事の心配もありつつ働き続けるのはかなり厳しい。子どもがいる人の分をカバーしている独身や子なしの社員への負担も忘れないでほしい。(40代・契約・派遣社員)
- 私は大手の会社にパートタイマーで勤めています。雇用調整助成金のお陰で、雇用も給料も保障されています。解雇されたり、手に入るお金が減っている方々のことを思うと大変気の毒に思います。もっと早く人々の声を吸い上げ、現実味のある対策をしてあげて欲しいです。(50代・パート・アルバイト)
- 皆さんそうだと思いますが、例えばこの状況がいつまで続くのかとか、仕事の契約がいつ切られるのか、など考えているとどうしても気が滅入ってしまいます。(40代・契約・派遣社員)
- 今、困っている訳ではありませんが、今後の状況によっては、仕事・勤務形態・収入がよくない方向に行くこともあるかもしれません。今後どうなるのか、その時どうしたら良いのかは、今は分かりません。(40代・契約・派遣社員)
- 今後どうなるか不安ですし、仕事もあるだけいいが、減っているし、収入もこれから必要な資格など身に付けようか悩みます。(30代・パート・アルバイト)
- 会社がどうなるか分からないので、転職に役立つ実践的な講座があれば参加したいです。(30代・正社員)
- いつもの状況が終わるのか先が見えなくて、仕事の計画が立てられない。(50代・正社員)
- アウトドア関係の仕事のため、いつ再開出来るかわからない。(40代・自営業・フリーランス)
- 困っているほどでは無いですが、2、3人でのワークショップはやっていいのかわかるか？今は開催をがまんするとして、いつまで？やるとしたら条件は？相手の気持は？この際オンラインに特化すべきか？など判断に迷います。宙ぶらりんな案件がいくつも中、やれることをやっています。(50代・自営業・フリーランス)
- 仕事でお客様の所に行くことが多いので、移すことも移されることも許されず、かと言って、自宅で待機していることもなかなかできず、日々体温を測って自己管理に気を付けていますが、どこで移されるのか分からないので、毎日が不安です。(50代・自営業・フリーランス)

#### 【家事や子どもの世話の負担増】

- 3人(小1、年少、2才)の子どもの母です。入学してすぐに小学校は休校、幼稚園も休園。なるべく家にいるように、DVDや室内遊び、家の庭でお弁当食べる等して、なんとか騙し騙し一日を過ごしていますが、この生活がいつまで続くのかと思うと暗い気持ちになります。子どもたちは今のところ明るく過ごしていますが、運動不足や、人との関わりが極端に減った毎を送る中で、心身の発達に影響が出ないか心配になります。たまには外に出かけて体を思い切り動かしたり、お友達と遊んだりしたいのですが、どういう行動をとれば感染リスクの心配が無い(低い)のか？等の目安を知りたいです。(30代・パート・アルバイト)
- みんな大変な状況とわかっているから乗り切らなくてとは頑張っていますが、3人の子どもの毎日いて、相手をしながら三食作り、片付けて、家事もして、勉強させたり直して教えたり、外での遊びに付き合ったり、それぞれの年齢ごとに対応も違うので大変。自分の好きな事をやる時間は一切ないのでやることばかり山になっていてイライラしてしまう。ただこうやって文字にして伝えるだけでわかってもらえた気になるので少しスッキリします！(30代・契約・派遣社員)
- もし自粛の延長などあれば家族の世話、それに伴い家計のエンゲル係数もあがり、また自分の仕事も職場で感染者がでたら

- (自身の感染も含め)働けなくなり、収入の面でも心配はつきません。とにかく休園中の子どものメンタルを含め、今は楽しく元気に過ごしていこうと思っています。(40代・契約・派遣社員)
- 常に子どもがいる環境で、ひとりになれる時間がないことが少しづつ苦痛になってきています。(40代・専業主婦)
- 家族以外の大人と話す時間が減っている。(30代・契約・派遣社員)
- 子どものお昼ご飯の用意が負担。菜園への宅配弁当(おかずのみで良い)サービスがあると助かる。値段は 300 円弱程度で。お間違いのメッセージでしたら、すみません。(40代・パート・アルバイト)

#### 【保育園登園自粛要請等に対して】

- 当社で、職場の小学生を持つ親で、今回休業補償を受けて休むのは女性のみです。男性社員は家族と話合う事もなく、自分が休む事を検討していません。女性だけが休むのはおかしいと言っても誰も相手にしません。どうしたら世の中の男性がもっと積極的に育児に参加するのか改めて考えさせられました。(40代・正社員)
- 緊急事態宣言が全国に発令され、保育園も医療従事者、公的機関以外は自粛の要請が来しました。しかし会社がそれに対応してくれなければ、保育園に預けるしかありません。会社も欠勤の場合は、欠勤扱い。給与も減り、ストレスも多くなり、子どもに当たってしまうこともしばしば。早く終息することを願うばかりです。(30代・パート・アルバイト)
- 子どもが通う子ども園から登園自粛のお願いがあったが、仕事を休めるかわからない。休めたとしても、よくて有給消化、無給の可能性もあり、言い出しにくい。(40代・パート・アルバイト)
- これから、保育園登園への自粛が始まります。子どもの事を考えれば、お休みさせたいです。実母へお願いをしますが、負担を考えると、全く保育園に通わないということが出来ません。保育士の皆さんには、申し訳ない気持ちで一杯です。連休前の忙しい時期の為、出勤しなければなりません。普段から理解ある会社ですが、お休み期間が長いと、たくさん負担もかけます。夫は予定を空けることが難しいとのこと。普段から、子どものお休み時は、私だけが対応します。解決方法はありませんが、長引かないように、お子様がない方も、負担がないようになればと思います。(40代・正社員)
- 今のところ、交替勤務(2班に分かれて、1週間ごと勤務)が始まる予定だが、大きな変化はない。ただ、保育園からは登園自粛要請がでているし、子ども達の生活リズムが狂ってくるのではないかと心配している。また、買い物など、子どもを連れて出掛けにくいし、予定していた映画の鑑賞や旅行など子どもが楽しみにしていたものはすべてできなくなっているため、仕事が交替勤務になったら、子どもをみながらどう生活のリズムを設定するか悩みます。(40代・正社員)
- 幸い、頼れる場所がある環境で助かっている身ではありますが、周囲の女性の悲痛な声にやるせない気持ちになります。(30代・正社員)

#### 【子どもの学校休業に対して】

- 友達に会えない、学校に行けない、外出ができない等でふさぎ込んでいる子どものメンタルケアをしたいが、自分の仕事量が増え(家庭内でも、仕事でも)、子どものために時間を使えずきもきする。(40代・その他)
- 子ども遊び、公園自粛、友達に会うのも自粛で、家にいる時間が多い。子どもが喜ぶ動画やコンテンツの提供があると助かります。(40代・正社員)
- 学校がいつまでたっても再開されないこと。(40代・正社員)
- 休校により子どもの学習の遅れが心配。(40代・自営業・フリーランス)
- 私自身も子どもも生活リズムが崩れ、この状況がいつまで続くのか不安で仕方が無い。特に高校3年生で大切な時なので心配です。(50代・正社員)
- 高校生になった娘は一度もまともに授業を受けないまま5月10日には1か月が経過する。各学校のIT教育環境に差がある

ため、学力に差が出るのではないかと心配している。(50代・正社員)

- いつまで学校の休業が続くのか。大人よりも子どもたちの勉強の進捗度、部活等スポーツ活動への影響等、計り知れないものがあり、早く終息してもらいたいと願っています。(50代・自営業・フリーランス)
- 子どもが二人とも受験生のため、部活のこと、受験のことなど心配なことばかりで、先が見えないため不安になる。(40代・パート・アルバイト)

### 【子どものことが心配】

- 自分に何かできることがあるんじゃないかと思うのに、何もできない無力さを感じる。虐待されている子がいるんじゃないか、満身に食べれない子がいるんじゃないかと思うと、学校再開の見通しが立たず、悲しい気持ちになる。(30代・パート・アルバイト)
- 仕事に行っている間の子どもの管理に困っています。家に監視カメラが欲しいくらいです。(40代・自営業・フリーランス)
- 私自身困っていることは特にありません。ただ、私がやっている支援活動にはたくさんの声が聞かれます。子連れ再婚家庭の支援です。継親さんにとっての継子との生活は普段でもストレスがあります。この自粛でストレスはMAXになっているようです。いつもはそれでもなんとか、学校や仕事でそれぞれに自分の時間を作れているが、今は四六時中一緒。どうしてもイライラしてしまうそうです。声を発せられる人はいいが、家庭の中で思いを抱えている継親も多いのではないかと心配です。また継子も同じです。家庭に居場所があればいいのですが。(40代・その他)
- 発達障害の子ども(受験生)がいるが、学校からの連絡や指導がほとんど無い。数少ない登校日も中止になった。このまま家庭学習をするだけでよいのか親子共々、非常に不安。認知に偏りがあることと思春期特有の親への反抗心が混ざり、保護者から教えることがほぼできない状態。特別支援の専門家(医療、教育)からアドバイスだけでも仰げたら助かるのだが。(40代・専業主婦)

### 【妊娠中の女性へのサポート】

- 妊婦への支援を。(20代・正社員)
- 妊婦に対する援助や支援についても要望します。(30代・正社員)
- 近々出産を控えているが、コロナの影響で、マスク作りのため売り切れていて新生児用のガーゼタオルが買えなかったり、上の子と入院中面会禁止で会えなかったり…不安なことが多い。産後も、産後ケア事業が中止されているので産後うつが怖い。(30代・正社員)
- 3人目を妊娠中。まだ働いているが、ステイホームする為に仕事量を減らして通園は週3回にしている。ただ、すでに体力の限界を感じている。産休・育休中に通園自粛を求められると、体力的、精神的に不安。ただ、子ども達の感染リスクや保育園の負担を考えると、自粛したい気持ちはもちろんある。非常にジレンマ。保育園には日々感謝しているが、人手不足なのか子どものフォローが以前より目に見えて雑になっている。(30代・自営業・フリーランス)

### 【夫婦・家族の問題】

- 夫と別居をしているので、給付金の受け取りができない。市役所に問い合わせたが、DVの警察の証明がないと別にできないと言われました。いいにくいし、渡してくれないことも考えられます。あらかじめ伝えたのだから、対応してくれたら…と恨めしく思ってしまった。政府はいろいろな家族の形があることを理解し、それに合わせて実行すべきと切に思います。そのように変えてくれる人を応援しているのに、その頭がない人が上に立っていて残念です。何かできることはありますか。(30代・自営業・フリーランス)
- 夫の精神的DV(無視、暴言等)に困っています。(40代・正社員)
- 夫が在宅ワークになり昼御飯も作る生活になり苦痛。簡単に安いメニューはないか。収入は減ったのに食費はかさむばかり。

旦那は在宅ワークせずゴロゴロしてるだけでイライラする。(40代・専業主婦)

- 息子(30歳)の言動に振り回されている自分が嫌で悩んでいる。(60代・専業主婦)

### 【情報発信に関して】

- 子ども達や会社でも「パソコンを使って」「Zoomで」と簡単に言うけれどインターネット環境やパソコンがない家庭もある。そういう家庭はどうしたらいいですか？そこは無視なのですか？子どもは勉強しなくてもよいと考えられるのかな？それと思うと貧困層は格差を感じずにはられません。(50代・正社員)
- パソコンを持たない年配の人がいることを知っていて欲しい。オンラインと言われても困ります。(70代以上・無職)
- 確かな(コロナだけではなく)情報を常に発信して欲しいです！(50代・契約・派遣社員)
- 情報も、どれが正しくて、どれが間違っているのか、判断に悩みます。慣れ親しんでいるアiselからの情報があれば、少しは不明確な新聞記事やニュースの判断材料になって、安心できると思います。(40代・正社員)
- 新型コロナウイルスによる通院しにくい状況の中、産婦人科や皮膚科、内科、小児科等のオンライン診療ができる場所を調べたが、全然出てこなくて困っています。女性が罹患してしまったら特に家族がとて困るため、静岡市のオンライン診療できるところの情報まとめの発表を要望したいです。(50代・自営業・フリーランス)
- ボランティア、仕事、何かこの未曾有の事態に何か役に立てることをしたいが、情報が無い。(60代・自営業・フリーランス)

### 【感染リスクへの不安】

- 同居している高齢者が通っていたデイサービスのスタッフ(高齢者)がマスクをしていなかったことで感染が不安になり、デイサービスを休ませている。本人もなかなかコロナ対策の必要性を理解してくれないので困っている。(30代・正社員)
- 特に若者にマスク着用を願いたい、上手な言い方、心に響く伝え方をしなければならぬと痛感している。(50代・自営業・フリーランス)
- 関係者にコロナ感染の通知や自粛を促しているが、上司は、自覚、自粛していないので、あり得ないし、迷惑。(50代・正社員)
- 困り事では無いのですが、同じビルに入居されている会社の中には、小学校低学年の子どもを連れて出勤されている女性を見かけます。会社が子連れ出勤を認めているのだと思いますが、親子で感染リスクにさらされていると思うと、とても心配です。(40代・正社員)
- 持病があるのですが、車を持っていないため、病院に行ったり、買い出しに行くのが命がけ。ネットスーパーは日に日に混み合い、買い溜めないと食料調達もままならなくなってきた。買い溜めしたくないのに、残念。(40代・自営業・フリーランス)
- 車の運転ができないので移動が心配。(60代・正社員)

### 【その他の不安】

- なにが困ってるのか、もはや分からない！(10代・学生)
- 先が見えないことが、家族の負担になっている。日々の楽しみを増やしたい。(20代・正社員)
- いつになったら普通の暮らしができるのか、大きなパニックが起きないか不安を感じています。(50代・パート・アルバイト)
- いつまで、この状態が続くか、漠然とした不安があります。(50代・自営業・フリーランス)
- 今後様々な問題が起きてくることは必然なので気分が落ち着かない。混乱状態になる前に対処法を考えないといけないと思う。(60代・パート・アルバイト)
- みんな、違う大変さと負担を抱えていると思うのでそれを比べて潰し合うような傷つけ合うようなことはやめてほしい。罹患者を犯罪者扱いするような風潮や、不安を煽るような世の中の流れもキツイ。(40代・契約・派遣社員)
- 市立病院の看護師さんの感染で家族の行動がさらされて、東京の家族が感染源と言われたことに心を痛めています。あの報道

を見たら、わが家の東京に住む家族はとてもじゃないけど帰省できません。(50代・パート・アルバイト)

- 県外に母と社会人の子どもがいますが、会いに行くことができず、とても心配です。時々胸がつぶれそうになります。(50代・パート・アルバイト)
- 6月に開腹手術予定なのですが身内も近くにおらず、遠方の義母もよべず(高齢と障碍者が2人いるため)知人も呼べずにいる。周りに知り合い程度の人しかいないため、立会人の予備確保、帰宅後の家事全般が厳しい状況で困っています。(40代・パート・アルバイト)
- マスクや消毒薬はどこに行けば手にはいるのでしょうか。(50代・パート・アルバイト)
- 出かける時に使うようにして節約しながら使っているが、だんだんマスクの残りが少なくなってきたこと。(60代・専業主婦)
- 今は特にありません。ただデマによる日用品の買い占めで、トイレットペーパーが本当に必要なのに、なかなか手に入らなかった事がありました。(50代・無職)
- コロナの影響で、セミナーや資格取得講座など、予定していた学習の場が閉ざされて、目処が立たない事。(50代・正社員)
- 安易に人を誘って出かけられない。旅行ができない。JRを使いたくない。行動範囲が狭くなり、高齢者に不活発病が増えるのではないかと。公民館等の利用が禁止された。少人数でも活動できない。(70代以上・専業主婦)
- 音楽、演劇、スポーツ観戦等、私にとって大事な生活の一部が抑えられていて辛い。(70代以上・専業主婦)
- 予約済みの部屋が使えなくなり、活動ができなくなって困っている。(70代以上・無職)

【終息を願う】

- 困っていることというよりは、このような状況になり、人間の弱さを感じています。しかし、同時に人間の強さも感じることであり、そのような方々に勇気をもらいます。大変な状況ですが、周りに惑わされず、今自分に出来ること、をしっかりと考えていきたいです。(50代・パート・アルバイト)
- 明るい話題が欲しいです。職場(デイサービス)のご利用者様と一緒に笑っておしゃべりする話題を増やしたい。(50代・正社員)
- コロナウイルス感染症だけが病気ではありません。心配な人に迅速にPCR検査が出来、受診しやすい環境になることを望みます。(60代・自営業・フリーランス)

- 今のところは、皆で頑張ろうと思います。(60代・パート・アルバイト)
- 普通の生活ができることがなんと幸せなのかを実感しています。会合、講座等すべてキャンセルで友人知人等との交流が出来ないことを寂しく思っています。幸いなことに、近くに住んでいる孫たちと散歩したりゲームしたりと、暇で困ることはありませんが、早い終息を心から願っています。(70代以上・無職)
- このような事態が早く治まることを毎日祈ります！自己管理と守るべき三密！感染を軽視しない！何処から拾うのか不明でこわい！私だけは絶対無いと皆でこれを守るべき！当たり前がどれだけ有り難いのか今とても感じています！一日も早い平安平穩を！(70代以上・パート・アルバイト)

【その他】

- 相談だけではなく男尊女卑社会において女性の権利を向上させるための具体的な活動が必要だと思う。(40代・自営業・フリーランス)
- 「お困りのこと」とありますが、ここは「自由記入欄」であるべきだと思います。というのは、私の周囲では、コロナの影響によるテレワークや休校、営業短縮などで、却って良いと思いついてはどうかと思いますが、「楽になった」「楽しい」という人が男性女性を問わず、しかも少なからずいるからです。企業の人に関しては、売上が増えているところもありますし、公務員に関しては、コロナに直結する部署や部門の方々は本当に大変ですが、全然関係ない部署では、形だけのテレワークや交代勤務となり、実質休暇状態の人も多いです。「面倒なPTAの行事や町内会の集まりがなくなってよかった」「満員電車に乗らなくて済むようになった」「睡眠不足が解消された」「普段ろくに面倒をみれなかった子どもとの時間が増えてよかった」という人もいます。「コロナ禍」で、かえって「良い」状態になった人の意見や実情も把握することで、「困っている」人の実情やニーズがより鮮明になるのではないのでしょうか。(40代・パート・アルバイト)
- 政治家があまりにもお粗末。国民のことを第一に考えていない。改めるべき。(60代・パート・アルバイト)
- 自宅で大人ができる健康的な活動はないか。運動不足のせいか、肩や首が凝りすぎて死にそう。コロナ太りになってしまった。(40代・専業主婦)
- 勤務先で昼食に利用している店が閉まって困る(気分転換兼ねて屋外に出たい)。ストレス溜まる。(50代・パート・アルバイト)

《調査に関する問合せ》



静岡市女性会館 (指定管理者 NPO 法人男女共同参画フォーラムしずおか)

〒420-0863 静岡市葵区東草深町 3-18 tel 054-248-7330

◆本アンケート結果の引用については、できる限り事前連絡の上、調査実施機関名を必ず明記してご利用ください。

\*\*\*\*\*

📝 アンケートの声にこたえて

新型コロナウイルスに関連した困りごとの相談先一覧を  
ホームページに掲載しました。

